23

い

つ

も

薬を

受

け

取

る

カ

ウ

ン

タ

に

い

る

つ

も

IJ で

い

ょ

受 あ け لح 取 3 秒 る 時 早 Ċ, に 素 こちらから挨拶をしよう。 晴 b L い」と言おう。

1

2 3 挨 拶 なく て い い 人に ŧ, 挨拶 してみよ う。

5 1 日 に 1 度「よ かっ た ね」と言おう。

自 分 が どう見える か、 、 に 聞 < の は や め よう。

8 尊 敬 す る 人の、 考え方 の Ŧ ノマネ 分も忘れずに。 を しよ ۯؗ ٛ

7

お

祈

IJ

をする時は、

大切な人

の

6

4

工

ベ

I

タ

1

が

あるところでも

階

段

で上がろう。

9 何 で ŧ い い と言わずに、 自 分で選 ؞ۯ؞ٞ

買 わ な < 7 ŧ 「あ りがとう」と言って店を出 ょ う。

11 10 大 事 な も の が 見 つ か b な か つ たら、 余計 な ŧ の を

て

、よう。

12 行 き詰 と話 ま を つ L たら、 な い で で 時 ŧ 間 集中できる OK <u>.</u> と言 お う。 ŧ の を

2

持

لح

す る前 から、 予防線を用 意 ない。

緊 張することほど、 ŧ し ゆったり Ĺ た 気 持 ち で ょ

22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 欲 い の は、 注 文 て買 ハおう。

断 反 「・・・さえあれ b 対 れ されることを期 たら、 熱 ば」と言 意 だ め 待 わ し し だと て、 な い 考 相 ように え 談 よう。 L な L j い う。 0

度 は 早 め に 行 つ て み ょ う

ろ が の 来 の る ほ た う め を 見 ŧ な がら、 う 1 歩 奥 バ ス を つ 待 め ょ た う。 な い

> 24 う。 1

> > 分

の

鏡

に

L

う の

を考

る ょ

を

や

め

よう。

入 会 損 得 ヤ ょ な IJ 人

26 25

30 29 28 27 謝 挨 拶 つ て を する時 い L る そ を、 こね に 相 納 自

得 特典

選

ぼ

う。 え

て

い で

る人に、

挨

拶

を

L

ょ

う。

先 天 的 な 理 間 由 後 手 の せ の 話 い に を す 最 で る 後 ま の は で 聞 連 や 絡 め しょ ょ て う。 あ れ げ よう。 よ う。

な い ے ح がわ か つ て い て ŧ 電 話 を か け ゛ よう。

とえ

1

時

に

会う人

ŧ

を

入

い きあ たり ば つ た ij で や つ て み る。

35 34 33 32 31 電 話 が を すること 切 る 時 に を、 「 プ チ や I つ て と みよう。 言っ 7

み

動 性 物 を 洗 つ て あ げ ょ う。

36 37 花 イ ラ や 木 1 の ラ 名 前 て を覚えよう。 い る 時 に は、 イ ラ 1 ラ を 人 に ٠٤٪ つ け な

い。

45 44 43 42 41 40 39 38 イ 今月 ヤ な こ と の 私 に があ の NG つ 大賞」を表彰 た 時 ほ らよう。 ど、 い L 、よう。 。 ことをしよう。

電 場 話 の の 神 切 IJ 際 に 気 挨 拶 を 使 を お L う。

作 を ょ ۯٛ ٛ

が

低

い

人

に

は

そ

れ

以

上に

腰

を

低

IJ 言 を言 「おう。

分 の 乗る 車 を、 自 分 で 洗 お う。

لح 同 じ < らい 後片 付 け に も 心 を 込 め

理

50 いつもの逆をやってみよう。49 簡単ななことを、1つでいいから続けよう。48 どこまで行けるか、行く前に考えない。47 写真を撮る前に、まず生の五感で感じよう。